

たんさく番外編
取材途中に見つけた青森県の野生動物たち



ニホンザル：北限のサルとして、下北半島のニホンザルが有名です。県内各地で見ることができます。農作物への被害報告も多く、人に慣れると襲ってくることもあります。カメラを向けると森へ一目散に逃げていきました。



キツネ：本州に生息する「ホンドギツネ」と北海道に生息する「キタキツネ」との見分け方は、前足も後ろ足も毛が真っ黒なのが「キタキツネ」、そうでないのが「ホンドギツネ」らしいのですが、素人では区別が付きませんでした。



ニホンカモシカ：国の特別天然記念物に指定されています。「寒立馬、の「寒立ち、は元々カモシカが寒い中でじっと立っている姿を現した言葉で、雪が降る中じっとこちらを見ていました。

今回は番外編として、取材先へ行く途中などに見つけた野生動物をご紹介します。自然豊かな青森県には、多種多様な野生動物がいます。また、北限とされている動物も多く生息しています。しかしながら、近年クマやサルが人里近くで目撃され、農作物に被害が出るケースを耳にする機会があります。もし、これらの動物を見かけても必要以上に近づいたり、餌付けをしたりせず、野生動物との距離感を大事にしたいです。

みなさまにご協力いただいた
「2021年8月大雨災害支援募金」が被災地へ送られました。

はばたき1月号で、日本生協連への送金をお伝えした「2021年8月大雨災害支援募金」は、コープあおもりを含め、61生協から222,151,987円が寄せられ、この度、福岡県へ36,974,719円、佐賀県へ153,037,909円を義援金として日本生協連が送りました。

1月11日(火)に福岡県庁で、1月18日(火)に佐賀県庁で募金の贈呈式が執り行われました。各県知事からは、大切なお預かりし、復興に役立てたいとお礼の言葉がありました。

この度、「2021年8月大雨災害支援募金」にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



コープ杯争奪AOFA青森県
U-11サッカー大会が開催されました。

AOFA：一般社団法人 青森県サッカー協会



2022年1月16日(日)、むつ市ウェルネスパークしもきた克雪ドームで、コープあおもりが協賛する「コープ杯争奪AOFA青森県U-11サッカー大会(チビリンピック青森県予選)」が開催されました。

青森県の各地区大会を勝ち抜いた8チームが熱戦を繰り広げ、五戸すずかけSC(十和田・三戸地区)が優勝し、準優勝はヴァンラーレ八戸FC(八戸地区)、三位はウインズFC(八戸地区)でした。上位2チームは3月に開催が予定されている東北大会へ出場します。



[co-op 共済ニュース] CO-OP 共済

インターネットで
コープ共済の申し込みと
生協加入が
同時に手続きできます。

※コープ共済への申し込みにあたって、生協未利用の方は出資金をお支払いいただき、お近くの生協へ加入いただく必要があります。

契約引受団体/日本コープ共済生活協同組合連合会

K-77533-2103

生活協同組合コープあおもり



※2次元コードは、スマートフォンに対応しております。その他の機器から読み取ることはできません。

インターネットなら24時間365日お申し込み可能